

- 安全工学会
- 横断型基幹科学技術研究団体連合
- 環境システム計測制御学会
- 空気調和・衛生工学会
- 計測自動制御学会
- こども環境学会
- 砂防学会
- 石油学会
- ダム工学会
- 地盤工学会
- 地域安全学会
- 地理情報システム学会
- 土木学会
- 日本応用地質学会
- 日本海洋学会
- 日本火災学会
- 日本火山学会
- 日本風工学会
- 日本活断層学会
- 日本看護系学会協議会
- 日本機械学会
- 日本気象学会
- 日本救急医学会
- 日本計画行政学会
- 日本建築学会
- 日本原子力学会
- 日本公衆衛生学会
- 日本古生物学会
- 日本コンクリート工学会
- 日本災害看護学会
- 日本災害情報学会
- 日本災害復興学会
- 日本自然災害学会
- 日本森林学会
- 日本地震学会
- 日本地震工学会
- 日本地すべり学会
- 日本自治体危機管理学会
- 日本社会学会
- 日本集団災害医学会
- 日本造園学会
- 日本第四紀学会
- 日本地域経済学会
- 日本地球惑星科学連合
- 日本地質学会
- 日本地図学会
- 日本地理学会
- 日本都市計画学会
- 日本水環境学会
- 日本リモートセンシング学会
- 日本緑化学会
- 日本ロボット学会
- 農業農村工学会
- 廃棄物資源循環学会

開催趣旨

近年、地球温暖化による気候変動の影響などで日本の台風・豪雨災害が激化している。今年の台風第十号等による記録的な大雨は、北海道・岩手県に甚大な被害をもたらした。

日本学術会議の防災減災・災害復興に関する学術連携委員会は、防災学術連携体の54の構成学会とともに自然災害の軽減に向けて学術連携を進めている。このたびは「激甚化する台風・豪雨災害とその対策」をテーマにして「国土利用と台風・豪雨災害」、「台風・豪雨災害への備え」および「台風・豪雨災害時の避難・救助・復興」の3セッションの構成で、公開シンポジウムを開催する。

防災に関わる各学会の専門家が集まり、研究成果や取り組みを発表すると共に、今後、わが国はどう備えていけば良いのかを議論する。



日本学術会議主催公開シンポジウム  
第2回防災学術連携シンポジウム  
激甚化する台風・豪雨災害とその対策

日時：平成二十八年十二月一日(木)午前10時～午後六時  
会場：日本学術会議講堂(東京都港区六本木七丁目二十二番地三十四号)  
主催：日本学術会議 防災減災・災害復興に関する学術連携委員会



申込方法： 防災学術連携体ホームページからお申込下さい。

<http://janet-dr.com/>

定員： 300名

当日の講演概要： 「学術の動向」11月号特集(700円)を頒布予定

当日の発表パワーポイントは、前日の夕方に上記ホームページに掲載予定

問合せ先： 防災学術連携体: 菅原健介(土木学会) sugawara@jsce.or.jp 03-3355-3443

小野口弘美 info@janet-dr.com 日本学術会議事務局: 鈴木宗光 03-3403-1056

10:00-10:15

司会 防災学術連携体副代表幹事 依田照彦  
 挨拶 日本学術会議会長 大西 隆  
 主旨説明 防災減災・災害復興に関する学術連携委員会委員長／防災学術連携体代表幹事 和田 章  
 来賓挨拶 内閣府 防災担当 政策統括官 加藤久喜

10:15-12:35 セッション1 「国土利用と台風・豪雨災害」

趣旨:「国土利用、台風・豪雨災害、風水・土砂災害」に関係の深い学会の代表と日本学術会議の専門家が集まり、気候変動、発生メカニズム、観測・予測、国土利用、都市計画、情報伝達等について、研究成果や取組みを説明すると共に、今後わが国はどうか備えていけば良いのかを議論する。

日本気象学会、日本海洋学会、日本地球惑星科学連合、日本リモートセンシング学会、横断型基幹科学技術研究団体連合、日本地理学会、地理情報システム学会、日本地図学会、日本都市計画学会、ダム工学会、日本自然災害学会

— 昼食休憩 —

13:20-15:40 セッション2 「台風・豪雨災害への備え」

趣旨:「台風・豪雨災害への備え」に関係の深い学会の代表と日本学術会議の専門家が集まり、インフラ・建物の防災・老朽化対策、地盤情報と対策、地域経済、自然環境等について、研究成果や取組みを説明すると共に、今後わが国はどうか備えていけば良いのかを議論する。

日本風工学会、土木学会、日本応用地質学会、日本地すべり学会、地盤工学会、日本コンクリート学会、日本水環境学会、農業農村工学会、日本地域経済学会、日本造園学会、日本森林学会

— 休憩 —

16:00-17:50 セッション3 「台風・豪雨災害時の避難・救助・復興」

趣旨:「台風・豪雨災害時の避難・救助・復興」に関係の深い学会の代表と日本学術会議の専門家が集まり、防災体制、情報伝達、避難、救助、災害医療、インフラ・設備の保全・復旧について、研究成果や取組みを説明すると共に、今後わが国はどうか備えていけば良いのかを議論する

こども環境学会、日本災害情報学会、廃棄物資源循環学会、日本集団災害医学会、日本災害看護学会、日本看護系学会協議会、

日本自治体危機管理学会、日本緑化工学会

17:50-18:00

まとめの言葉 日本学術会議会員・防災学術連携体事務局長 米田雅子  
 閉会挨拶 防災学術連携体代表幹事 廣瀬典昭

セッション1 「国土利用と台風・豪雨災害」

司会・趣旨説明 日本気象学会 筆保弘徳  
 講演1「激化する台風・豪雨災害」  
 日本気象学会 筆保弘徳  
 講演2「エルニーニョ／ラニーニャ現象と台風」  
 日本海洋学会 安田珠幾  
 講演3「気象災害リスクの理解と軽減への地球惑星科学の学際的な取り組み」  
 日本地球惑星科学連合 奥村晃史  
 講演4「防災減災の観点から考える衛星画像の有効利用」日本リモートセンシング学会 桑原祐史  
 質疑応答1  
 講演5「社会経済的価値データとリスク事象データの空間的統合」  
 横幹連合 佐藤彰洋  
 講演6「防災における土地条件と正しい地形用語の使用」  
 日本地理学会 海津正倫  
 講演7「災害時のリスク情報管理におけるGISの役割」  
 地理情報システム学会 後藤真太郎  
 講演8「クライシスマッピングー世界中の市民がつくる被災地地図」  
 日本地図学会 古橋大地  
 質疑応答2  
 講演9「豪雨災害と都市・地域：8.20 広島豪雨災害と防災まちづくり」日本都市計画学会 横張 真  
 講演10「滋賀県流域治水条例について」  
 ダム工学会 美濃部博  
 講演11「豪雨・洪水・土砂災害リスクと土地利用」  
 日本自然災害学会 竇 馨  
 質疑応答3  
 総括「国土利用と台風・豪雨」  
 日本自然災害学会 高橋和雄

セッション2 「台風・豪雨災害への備え」

司会 土木学会 本田利器  
 趣旨説明 日本学術会議 小松利光  
 講演1「耐風工学の進展と台風・竜巻対策」  
 日本風工学会 小林文明  
 講演2「豪雨（洪水）から社会を守る」  
 土木学会 山田 正  
 講演3「防災の観点から考える地形・地質情報の有効活用」  
 日本応用地質学会 中曽根茂樹  
 講演4「地すべり地形分布図に基づく斜面防災」  
 日本地すべり学会 檜垣大助  
 講演5「豪雨災害に関する地盤工学分野のとりくみ」  
 地盤工学会 村上 章  
 講演6「コンクリート建造物の耐荷性能と劣化対策」  
 日本コンクリート工学会 丸山久一  
 講演7「豪雨対策に向けた水道システムの機能強化」  
 日本水環境学会 古米弘明  
 講演8「農業農村の風水害・土砂災害と保全対策」  
 農業農村工学会 鈴木尚登  
 講演9「災害と地域経済」  
 日本地域経済学会 宮入興一  
 講演10「防災減災とランドスケープ」  
 日本造園学会 篠沢健太  
 講演11「Eco-DRRとしての森林の機能の活用」  
 日本森林学会 坪山良夫  
 質疑応答「台風・豪雨災害への備え」  
 コーディネータ 日本学術会議 小松利光

セッション3 「台風・豪雨災害時の避難・救助・復興」

司会 日本集団災害医学会 小井土雄一  
 趣旨説明 廃棄物資源循環学会 森口祐一  
 講演1「自然災害とこども・地域力」  
 こども環境学会 小澤紀美子  
 講演2「災害情報学による被害軽減の課題」  
 日本災害情報学会 片田敏孝  
 講演3「水害廃棄物処理における分野間連携の可能性」  
 廃棄物資源循環学会 多島 良  
 講演4「広島土砂災害、鬼怒川洪水のDMAT」  
 日本集団災害医学会 近藤祐史  
 講演5「国内外の水災害と看護の対応」  
 日本災害看護学会 神原咲子  
 講演6「熊本地震ならびに台風被害後における看護職としての支援」  
 日本看護系学会協議会 宇佐美しおり  
 講演7「過去の災害教訓にみる基礎自治体の防災体制と避難判断の課題」  
 日本自治体危機管理学会 飯塚智規  
 講演8「日本緑化工学会が災害時の復興に果たす役割」  
 日本緑化工学会 柴田昌三  
 質疑応答「台風・豪雨災害時の避難・救助・復興」  
 コーディネータ 廃棄物資源循環学会 森口祐一